

2011年10月25日

各位

オリックス株式会社
(コード番号: 8591)

2012年3月期 第2四半期連結決算(4月～9月)
当期純利益は前年同期比33%増の453億円、2期連続で増収増益

2012年3月期第2四半期累計期間(2011年4月1日～2011年9月30日)の米国会計基準連結決算における営業収益は前年同期比3%増の4,832億円、税引前当期純利益は同47%増の762億円、当期純利益は同33%増の453億円と、2期連続で増収増益となりました。

なお、当期純利益は、通期の連結業績予想775億円に対しておよそ58%の進捗となりました。

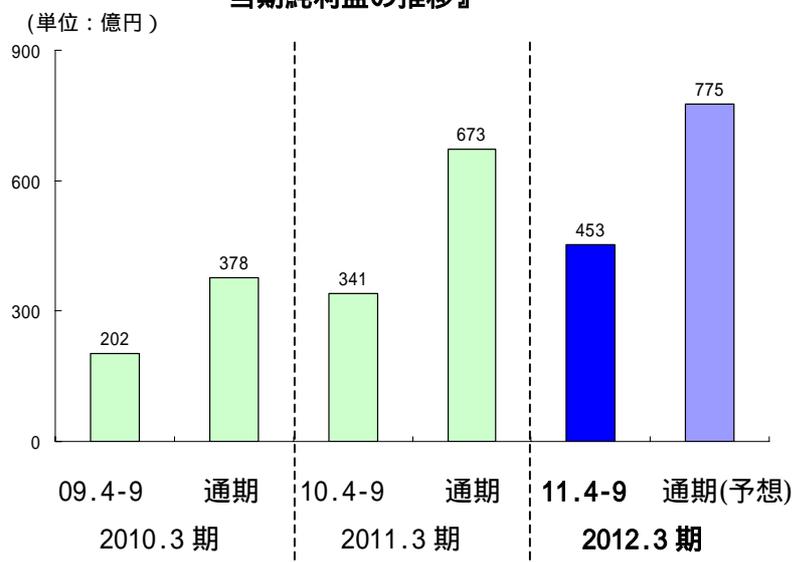
主な経営指標の推移

	2010.4-9	2011.4-9	増減率
営業収益	4,709 億円	4,832 億円	3%
税引前当期純利益	519 億円	762 億円	47%
当期純利益 ()	341 億円	453 億円	33%

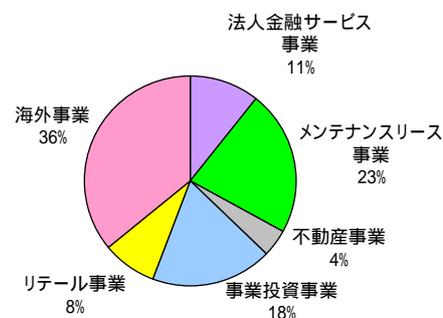
	2011.3	2011.9	増減率
総資産	85,816 億円	82,552 億円	4%
セグメント資産	61,428 億円	59,467 億円	3%
株主資本 ()	13,193 億円	13,303 億円	1%
株主資本比率	15.4%	16.1%	-

() 「当期純利益」「株主資本」は、決算短信などの財務諸表に記載している「当社株主に帰属する四半期当期純利益」「当社株主資本合計」を記載しています。「株主資本比率」は、当該株主資本合計を用いて算出しています。

『当期純利益の推移』



『当第2四半期累計期間のセグメント利益内訳』



各セグメントの業績概要（2011年4月1日～2011年9月30日）

当第2四半期累計期間は、前年同期と比較すると、関連会社投資に対する評価損を計上した「リテール事業部門」を除く全てのセグメントで増益となりました。

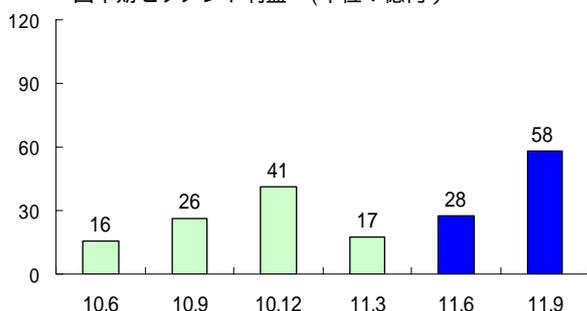
「海外事業部門」が引き続き好調に推移するとともに、「法人金融サービス事業部門」「事業投資事業部門」は前年同期比で大幅に増益となりました。

なお、経営管理区分の見直しにより、当第2四半期会計期間から法人金融サービス事業部門に含まれていた環境エネルギー関連事業を投資銀行事業部門に移管するとともに、「投資銀行事業部門」を「事業投資事業部門」と改称しました。

【法人金融サービス事業部門】

融資、リース、金融商品販売などの手数料ビジネス

< 四半期セグメント利益 > (単位：億円)

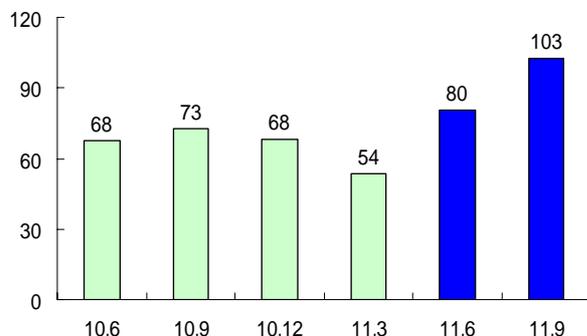


- ・新規実行高が増加し、リース収益や手数料収益が堅調に推移。
- ・貸倒引当金繰入額や支払利息が減少。
- ・当第2四半期累計期間のセグメント利益は、前年同期比105%増の86億円を計上。

【メンテナンスリース事業部門】

自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、測定機器・情報関連機器などのレンタルおよびリース

< 四半期セグメント利益 > (単位：億円)

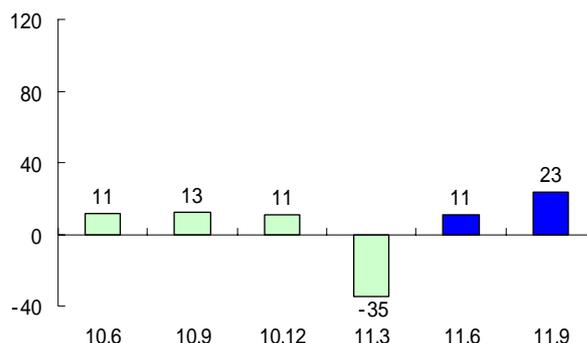


- ・企業のコスト削減ニーズなどに対応した高付加価値サービスを提供し、収益は高水準で安定。
- ・車両の売却を含む自動車関連などのオペレーティングリース収益が堅調に推移。
- ・当第2四半期累計期間のセグメント利益は、前年同期比30%増の183億円を計上。

【不動産事業部門】

オフィスビル・商業施設などの開発・賃貸、マンション分譲、ホテル・ゴルフ場・研修所などの運営、高齢者向け住宅の開発・運営、不動産投資法人（REIT）の資産運用・管理、不動産投資顧問、不動産ファイナンス

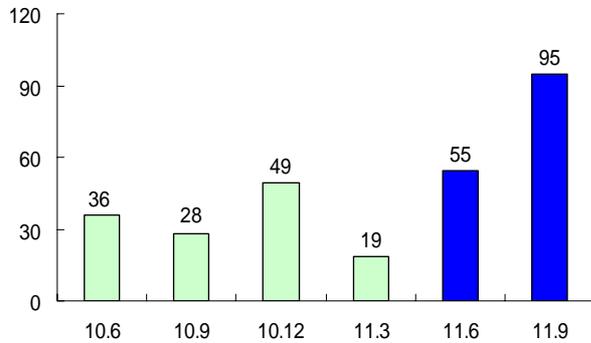
< 四半期セグメント利益 > (単位：億円)



- ・賃貸不動産の売却益を計上しつつ、他方で稼働資産の増加に伴い不動産賃貸収益が増加。
- ・ホテル、旅館、ゴルフ場などの運営事業は、当初一部で震災の影響を受けたものの安定的に収益を計上。
- ・当第2四半期累計期間のセグメント利益は、前年同期比44%増の35億円を計上。

【事業投資事業部門】

サービス（債権回収）、プリンシパル・インベストメント、M & Aアドバイザー、ベンチャーキャピタル、証券業、環境エネルギー関連ビジネス
< 四半期セグメント利益 > (単位：億円)

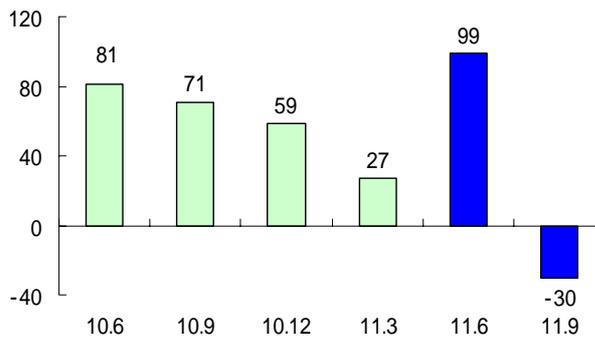


- ・ サービス事業による回収や手数料収益が堅調に推移。
- ・ (株)あおぞら銀行の株式売却による有価証券売却益を計上。
- ・ 当第 2 四半期累計期間のセグメント利益は、前年同期比 132% 増の 149 億円を計上。

【リテール事業部門】

生命保険、銀行、カードローン

< 四半期セグメント利益 > (単位：億円)

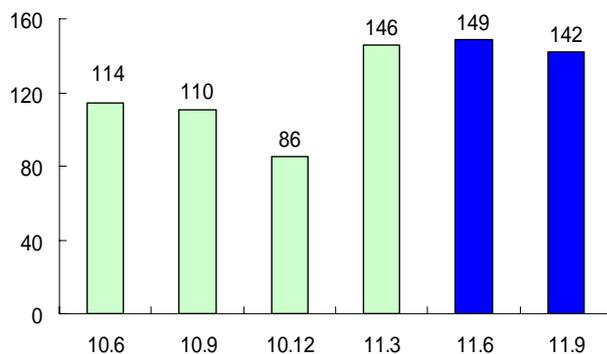


- ・ 生命保険事業は、保険関連損益が保険契約数の増加により順調に伸長。
- ・ 銀行事業は、法人融資、住宅ローンが伸長し、収益、利益ともに拡大。
- ・ 持分法適用関連会社のマネックスグループ(株)の株式評価損を計上。
- ・ 当第 2 四半期累計期間のセグメント利益は、前年同期比 55% 減の 69 億円を計上。

【海外事業部門】

リース、融資、債券投資、投資銀行、不動産関連、船舶・航空機関連

< 四半期セグメント利益 > (単位：億円)



- ・ アジアのリース収益が安定的に推移。航空機関連収益が伸長したことに加え、米国において地方債などの有価証券売却益を計上。
- ・ 昨年買収した米国のレッドキャピタル社（ローン・サービシング会社）、マリナー社（ファンド運営会社）が収益貢献。
- ・ 当第 2 四半期累計期間のセグメント利益は、前年同期比 29% 増の 291 億円を計上。

オリックスグループは、「常に新しい価値を創造し、進化しながら成長する」という経営方針のもと、多角化したポートフォリオによる事業展開を軸としながら、金融に専門性を結びつけた「金融+サービス」事業をさらに加速化させるとともに、アジアなど新興国の成長を取り込むことで、収益力の強化を図ります。

詳細は、当社ホームページにて掲載の決算短信および決算補足資料をご覧ください。

URL : <http://www.orix.co.jp/grp/ir/settlement/>

以上

< 本件に関するお問い合わせ先 >

広報部 池田・堀井 / 経営企画部 IR チーム 藤井・原

TEL : 03-5419-5102